

# 2020年度 授業評価結果のまとめ

IRセンター

令和2（2020）年度は、年度初めよりコロナ禍に見舞われ、前期はほぼすべての授業がオンラインで実施された。既設のラーニング・マネジメントシステムを活用し、「動画オンデマンド型」「資料提示型」「同時双方向型」の3種の提供様式に限定することで各配信方法の統一を図った。後期は、感染拡大状況を考慮し、学習目標達成のために対面実施が不可欠な授業や、いわゆる「3密」を避けた受講環境が確保できると考えられた授業については許可制で対面授業が試行された。

このような実情を鑑み、本年度の授業評価アンケートは、従前の設問様式を踏襲せず、前期・後期ともに「各教員が授業改善に向けて学生の要望を把握する」ことを最優先して、自由記述のみの調査を実施した。実際の設問は、本報告書の末尾に参考資料として転載した。

学生の自由記述は、各授業の担当教員が速やかに授業改善に資することができるよう、ユニバーサルパスポートを通して、調査終了後ただちにフィードバックされている。そこで、IRセンターでは、2020年度の開講科目を（1）一般講義科目、（2）語学、（3）スポーツ関連、（4）禅のこころ、（5）ゼミ・演習といった、授業の特性に基づくカテゴリーに分け、それぞれに含まれる科目に関するポジティブ・コメント（「よかったと感じられた点」と、ネガティブ・コメント（「担当教員にこうしてほしい」という希望」「よかったとは感じられなかった点」）について、量的・質的分析を行った。

その結果をもとに、本報告書ではキーワードとして上位（1～4位まで）を占めた「動画」、「資料」、「課題」、\*「確認テスト」について、今後の授業改善に向けてポイントとなりうる部分を述べたい（\*上位にランクされていないカテゴリーでは除外）。なお、これらのキーワードはすべてオンライン授業に関する文章に使われていることから、（3）スポーツ関連、（4）禅のこころ、（5）ゼミ・演習など、オンライン形式は本来的でないと考えられる科目群については、前期の「よかったと感じられた点」についての分析結果のみ記述する。

## I. 調査の実施状況

<前期>	実施期間：2020/8/17～9/5	回答率（学士課程平均）：58.9%
<後期>	実施期間：【共通】2020/12/23～2021/2/24	回答率（学士課程平均）：47.1%
	【学外実習用】2020/10/22～12/8	（対象者250名 回答率8.6%）
	【学外実習用】2020/10/22～2021/3/12	（対象者174名 回答率25.6%）
	【学外実習用】2021/3/11～3/19	（対象者134名 回答率69.4%）

## II. ポジティブ・コメントについて

### （1）一般講義科目

1) 有効回答数 前期 32,160、後期 21,408

2) キーワード別ヒット数（割合）と要点（アンダーライン）を含む記述例

「動画」前期 3,792（11.8%）→ 後期 2,211（10.3%）

<前期>

- 生配信（注：同時双方向型）は、実際に対面授業を受けているような気持ちになれた
- （動画に）字幕がついていて、わかりやすかった
- オンデマンド授業は、自分のペースで動画を見ることができ、やりやすかった
- 動画の時間が長くないので、集中できた
- 動画に写真やグラフが沢山あって、わかりやすい

<後期>

- 動画の説明が丁寧で、わかりやすい
- 聞き取りやすかった
- (コンテンツ中に) エピソードが入っていると、集中して取り組むことができた
- 項目ごとに分けた動画の配信がよかった
- 動画の最後に内容を振り返る時間が設けられているので、整理できて理解しやすかった

「資料」前期 3363 (10.5%) → 後期 2034 (9.5%)

<前期>

- 提示資料と先生の話(の組み合わせ)で、理解を深めることが出来た
- 資料と教科書とを照らし合わせながら、自分の身になる勉強ができた
- 毎回キーワードとして重要な語句が示してあったので、要点が抑えやすく勉強しやすかった
- 講義内容の資料を先に配付した上での講義は、とてもわかりやすかった

<後期>

- 提示される資料が丁寧で、苦手意識がなくなるほど分かりやすかった
- 同時双方型と資料提示を組み合わせた授業だったので、バランスよく理解できた
- 毎回の資料で、どんなことをするのが明確に記されており、役立った
- 資料を提示しながらの説明が良かった
- 研究結果なども示され、多角的に学ぶことができた

「課題」前期 1998 (6.2%) → 後期 988 (4.6%)

<前期>

- 毎回の課題で、自分の学びを深めることができた
- 講義内容を自分なりにまとめることが課題とされ、より理解が深まった
- 課題について複数回の説明があり、レポート作成に取り組みやすかった
- 提出期限が適切な長さであった
- 課題の振り返りを次の授業で毎回行うことで、評価してくれている感じが良かった

<後期>

- 課題の量や提出期限が適切だった
- 毎回の課題で、文字に起こして自分の考えをまとめることができてよかった
- 課題についての丁寧な解説をしてもらえたので、取り組みやすかった
- 毎回の授業前に、課題の確認など十分な説明があったので、助かった
- 自らの考えや動画の内容をまとめて作成する課題が多く、やりがいを感じた

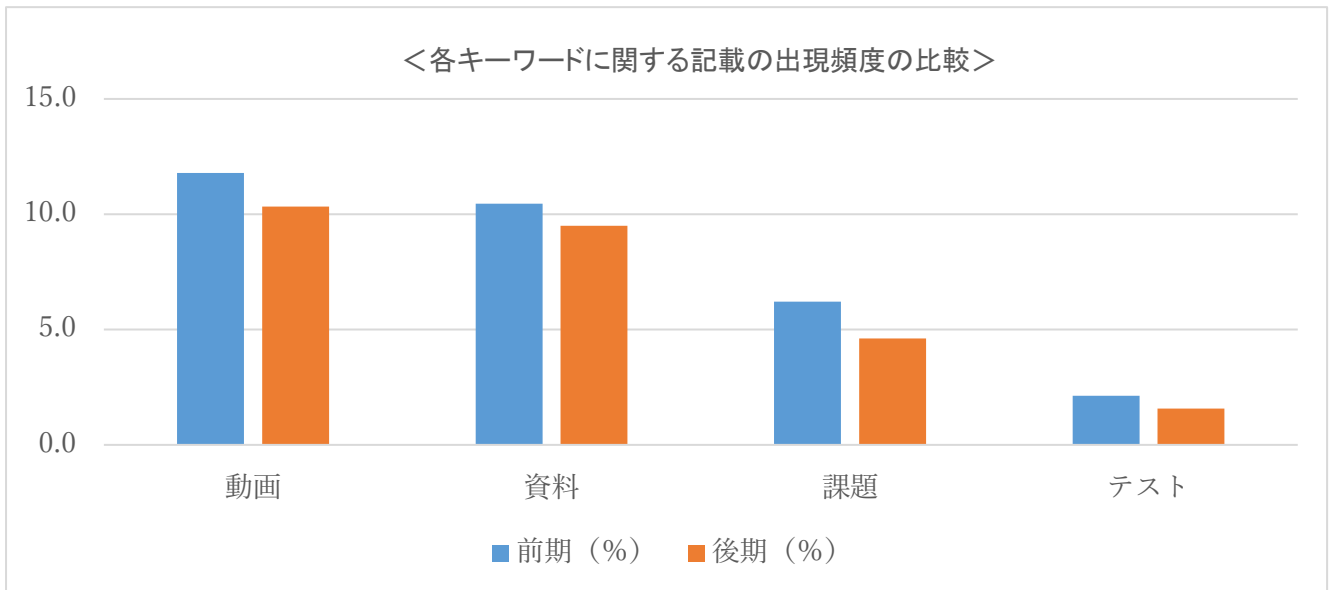
「確認テスト」前期 684 (2.1%) → 後期 336 (1.6%)

<前期>

- 確認テストが毎回あり、しっかり授業を理解できているか確認できた
- 授業後に行われる確認テストについて丁寧な解説があることで、間違いがわかり、とても良かった
- 確認テストのレベルが少し高かったが、勉強しようというモチベーションに繋がった
- 確認テストを何回も受けられるようになっていたのが良かった

<後期>

- 1回1回確認テストで、しっかり復習できるのが良かった
- いつも同じ締め切り時間（時刻）だったので、提出忘れがなかった
- 提出期限まで十分な時間をとって問題が配布されたのが良かった
- 前回、確認テストの解説があるので、復習しやすかった
- 100点をとれるまで何度でも受験できる設定にしてくれたのが、本当にありがたかった



## (2) 語学

1) 有効回答数 前期 2,864、後期 2,095

2) キーワード別ヒット数（割合）と要点（アンダーライン）を含む記述例

「動画」前期 98 (3.4%) → 後期 63 (3.0%)

<前期>

- 一つ一つの説明が丁寧で、動画であっても理解できた
- 講義動画を事前に視聴することで、授業に臨む際に発音など確認できるのがとても良かった
- 双方同時型の授業の前後に、動画オンデマンド型の講義で詳しい説明があり、予習復習がしやすかった
- 動画視聴型の課題に取り組むことで、リスニングの学習になった

<後期>

- オンデマンド型は苦手なところを何回も見ても復習することができたので、良かった
- 動画が細かく分けられて、いて集中力を切らすことなく行うことが出来た
- 同時双方向型授業とオンデマンド配信型の授業の併用で、理解が深まった
- オンデマンド動画の解説を改めてリアルタイム授業でして頂き、わかりやすかった

「資料」前期 62 (2.2%) → 後期 42 (2.0%)

<前期>

- 資料が分かりやすく、授業が受けやすかった
- 配布資料に音声もついていて、視覚以外の聴覚も使って学べるのが嬉しかった
- いつも丁寧な資料で、それに沿ってわかりやすく授業で解説してくれた点が非常に良かった

<後期>

- 資料の内容は、説明が細かく分かりやすかった
- 書き込みしやすい資料で、復習に役立った

- 要点がまとめられていて、音声と合わせて学習しやすかった
- 資料を事前に LMS のメール機能を通して添付してもらえて、よかった
- 資料の画面共有をおこなったことで、どの人も資料が見やすかった

「課題」前期 328 (11.5%) → 後期 208 (9.9%)

<前期>

- ちょうど良い量と難易度で、自分のペースで進められた
- 毎時間の課題をしっかりと添削してくれたことがよかった
- 課題の提出方法、取り組み方や授業の進め方など、丁寧な説明があった
- 課題の提出期限にある程度幅を持ってもらえたのが良かった

<後期>

- 課題があったことで、授業に集中して取り組めた
- 間違っ点を分かりやすく解説してもらえた
- いくつかの章をまとめた課題を提出することによって、習ったことを再確認できた
- 音声を録音した課題は、後から自分で確認することができるので良かった
- 全ての課題に添削があり、意欲的に取り組むことができた
- 課題のフィードバックや会話練習などにより、十分英語の能力を身につけることができた
- 単元のまとめのテストの前に今までの内容の振り返りの課題が出され、効果的に復習できた

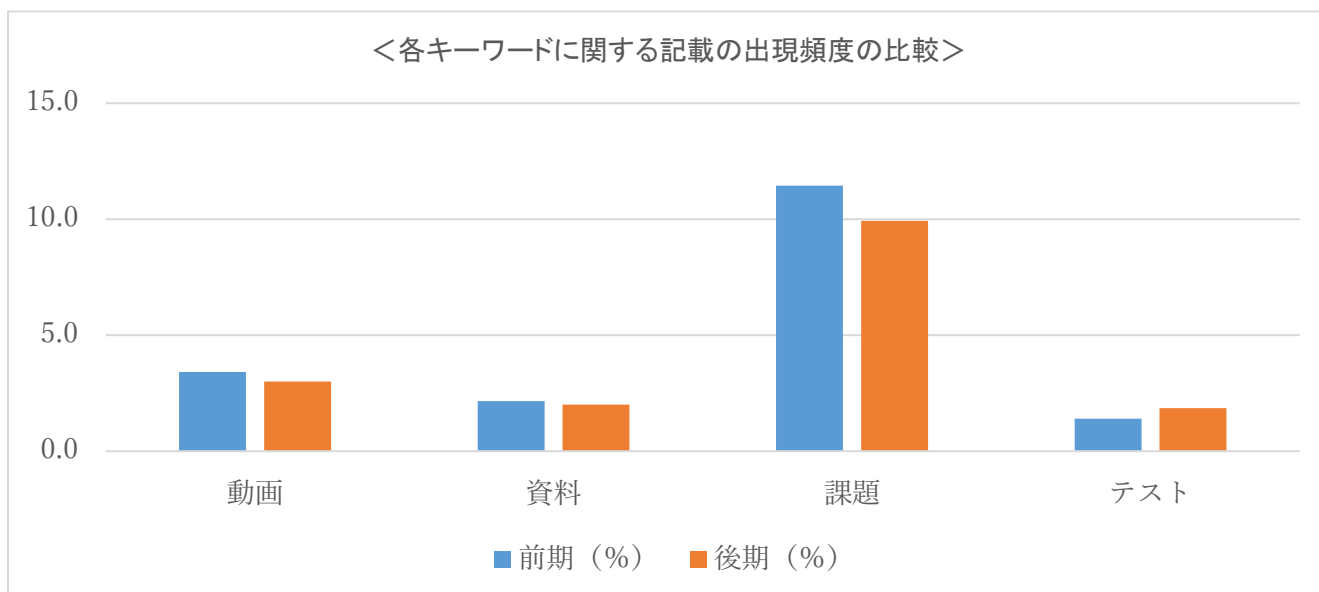
「確認テスト」前期 40 (1.4%) → 後期 39 (1.9%)

<前期>

- 定期的に行うテストだったので、どれくらい身についたかわかるので良かった
- 対面のテストなどもあり、発音やコミュニケーションなどしっかりと取り組むことができた
- 毎回小テストがあったが、出来ていると「よく出来ています」とコメントがあり嬉しかった

<後期>

- 教科書のまとめ以外にも小テストが行われることで、理解を深めることができた
- ユニットが終わるごとにテストがあったので、内容を理解し定着させることができた



### (3) スポーツ関連

1) 有効回答数 42,498

2) キーワード別ヒット数(割合)と要点(アンダーライン)を含む記述例

「動画」4,562 (10.7%)

- 運動課題の動画がとても分かりやすく、普段はやらない運動に挑戦することができた
- ストレッチや自重トレーニングの方法を動画で何度も視聴できるところが良かった

「資料」3,601 (8.5%)

- オンラインではあったが資料提示もあったため、内容を把握しながら受けることができた
- 事前の資料提示や説明が丁寧でよかった
- 沢山の写真や資料を挙げながら説明をしてくれたので、とても分かりやすかった

「課題」2,972 (7.0%)

- 課題を通して運動不足になることを防げた
- 課題のおかげで生活を改善することができた
- 運動課題の説明がとても分かりやすかった
- 運動課題について実演してもらえたので、取り組みやすかった
- 課題提出後の先生からのメッセージがあって、うれしかった
- 課題提出の催促メールがあり、忘れずに提出できた

「確認テスト」695 (1.6%)

- 毎回の確認テストで、授業の復習ができた
- 確認テストのおかげで、その日の講義で大事なところが分かった
- 確認テストの解説がとても分かりやすかった
- 確認テストが、授業を理解していないと解けない問題だったので、緊張感を持って授業にのぞむことができた
- 毎時間最後に確認テストがあったため、1回で満点にしようと積極的に授業に取り組むことができた

### (4) 禅のこころ

1) 有効回答数 1,087

2) キーワード別ヒット数(割合)と要点(アンダーライン)を含む記述例

「動画」47 (4.3%)

- どのように取り組んだらよいのか、細かな動きまで動画での説明があり、わかりやすかった
- 実際に行ったことのない施設の紹介や作法を動画で何度も見直すことができ、覚えやすくとても良かった
- 坐禅の組み方や所作や坐禅堂への入り方など、オンラインでも坐禅についての概要を捉えることができたように感じた
- 同時双方向型授業の終了後に動画が送られてきたため、再度内容の確認ができた

「資料」28 (2.6%)

- パワーポイントの資料と先生の解説を通して、坐禅の効能や意義についてとても理解しやすかった
- 事前配布の資料があったことで、座禅の仕方がわかりやすかった
- 資料提示もあったため、内容を把握しながら授業を受けることができた

「課題」 24 (2.2%)

- 座禅の課題を通して座禅をしたことで、自分自身と向き合う時間を得ることが出来た
- 毎回の課題として自分で座禅を組む時間があり、心を鎮めるのにとっても効果的だった
- 課題の座禅をすることで、集中力を上げることが出来たと思う
- 座禅を自分の出来る時にやれるように課題の提出期限が設定されていた

(5) ゼミ・演習

1) 有効回答数 3,753

2) キーワード別ヒット数(割合)と要点(アンダーライン)を含む記述例

「動画」 102 (2.7%)

- 動画での音声つきの講義がとてもわかりやすかった
- オンデマンド学習が多く、好きな時間に学習することができた
- 資料と動画での説明があり、資料を読んだだけではわからない部分も理解することができた
- 前の時間の講義内容や質問のフィードバックの動画解説があり、興味を持って学べた
- 先生が実際に使っていた教具などの紹介があり、自分たちの模擬授業で作る教具のイメージがしやすかった

「資料」 100 (2.7%)

- 資料にはグラフなども入っていて、内容が分かりやすかった
- 資料の掲示が毎回早めだったので、授業が受けやすかった
- 資料を作って見せ合うことで、他の人の参考になる部分を学び、次に生かすことが出来た
- 資料を見たり施設での話の聞き方を学んだりできたので、実習に活かしたいと思った

「課題」 243 (6.5%)

- 課題を進めるうえで丁寧な解説があり、理解を深めることができた
- 身近にできる内容で、量も適切であり、取り組みやすかった
- 自分の考えを積極的に伝えようと思えた(注:そのようなタイプの課題であった)
- 毎回先生からのコメントがあり、今回はどんなコメントが来ているのか楽しみだった

Ⅲ. ネガティブ・コメントについて

(1) 一般講義科目

1) 有効回答数 前期 27,177、後期 18,673

2) キーワード別ヒット数(割合)と要点(アンダーライン)を含む記述例

「動画」 前期 895 (3.3%) → 後期 743 (4.0%)

<前期>

- 講義動画が長く、集中できなかった
- 動画の画質が悪かった
- 動画のパワーポイントの文字が見にくかった
- 講義動画の音が聞き取りづらかった

<後期>

- 動画が長かったり、多かったりすると集中を続けられなかった
- 調べてもわからないところがあったので、動画などで説明が欲しかった
- テンポが速いので、ついていくのが難しかった
- 音声が聞こえにくいところがあった
- 講義動画のサイズとパソコンの画面のサイズが合わないことがあり、少し見づらかった

「資料」前期 699 (2.6%) → 後期 622 (3.3%)

<前期>

- 授業の資料を前日までに載せてほしかった
- 配布した資料と授業で取り扱う資料を同じにしてほしい
- 資料が多すぎて、何が重要かわからなかった
- 資料の細かい文字が読めず、苦勞した
- スライドにある資料も資料に載せてもらえると、後で学習しやすいと思った

<後期>

- 資料や授業内容を説明するものが欲しかった
- 資料が多かった
- 資料の字が小さくて読めない部分があった
- 授業で使った資料などを、別に提示してほしかった
- 動画が長いものは、資料も掲示してほしかった

「課題」前期 613 (2.3%) → 後期 555 (3.0%)

<前期>

- 内容が良くわからないものがあった
- 課題や確認テストが評価(点数)の何割を占めるのか分からず不安だった
- 量が多く決められた講義時間内に終わることができない場合があった
- 課題があったりなかったり不安定だった
- 提出方法がわかりにくかった
- 課題内容に授業で説明されていない問題があった
- 課題を提出した後に採点がなかった

<後期>

- 課題の採点方式がわからなかった
- 内容をもっと詳しく説明してほしかった
- 提出期間がバラバラだったのが焦った
- 課題がある時とない時があって不安になった
- 先生によって課題の締め切りや方法が違うのが不安だった
- 提出した課題の添削をしてほしい

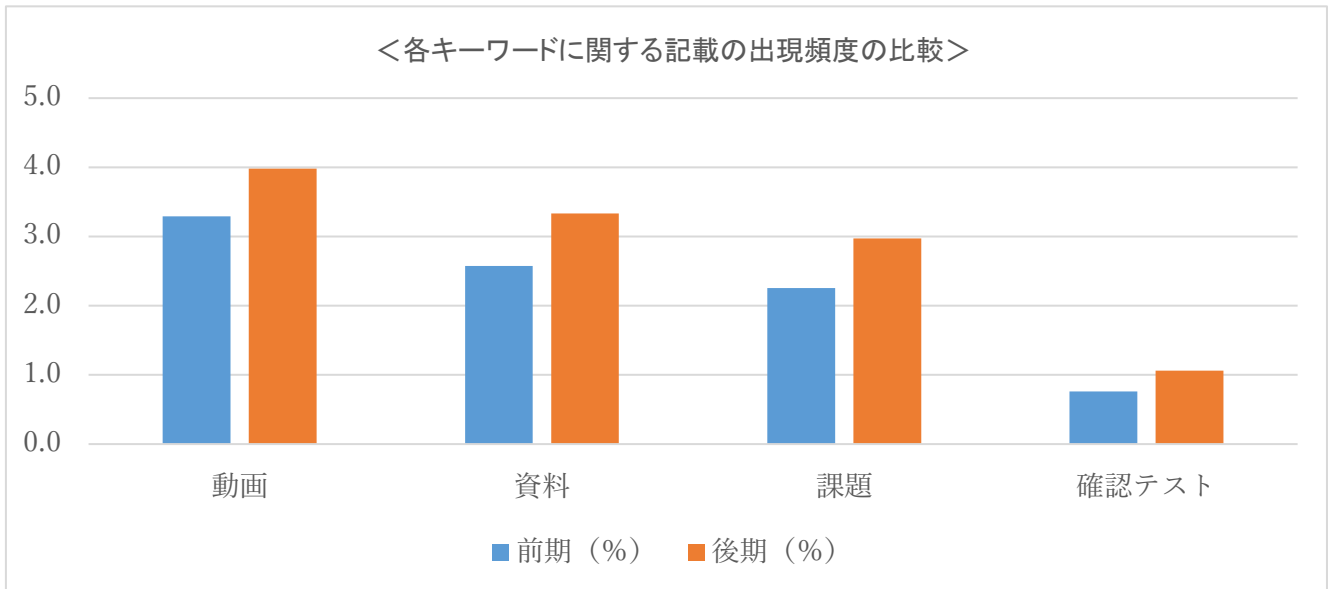
「確認テスト」前期 207 (0.8%) → 後期 198 (1.1%)

<前期>

- 授業で言及しなかった内容を出題されることがあった
- 一回の内容が多すぎて、大変だった
- 問題が分かりづらかった
- まとめてテストではなく、毎回にしてほしかった
- 問題文が長く、見にくかった
- 満点になるまで解答できるようにしてほしい

<後期>

- 受験できる回数を増やしてほしかった
- 受験できる時間を早めてほしいと思った
- 受験時間が短かった
- 点数が表示されなかった
- 採点基準が曖昧だった
- 採点されていないことで不安を感じた



## (2) 語学

1) 有効回答数 前期 2,222、後期 1,716

2) キーワード別ヒット数 (割合) と要点

「動画」前期 21 (0.9%) → 後期 8 (0.5%)

<前期>

- 動画一つで授業が完結するようにまとめてほしかった
- 授業動画の有無を統一して欲しい
- 動画がすべて英語表記だったので、きちんと理解するには限度があった

<後期>

- 授業動画が視聴可能となる時間帯がバラバラだった
- 動画の画質が悪く、見にくかった
- すべて英語での動画だったので、聞き取れない部分があった



「資料」前期 6 (0.3%) → 後期 3 (0.2%)

<前期>

- 基本があまり理解できていないので、基本の資料が欲しかった
- 資料だけでなく、動画を活用してほしい

<後期>

- 資料揭示による課題の説明がやや分かりにくかった

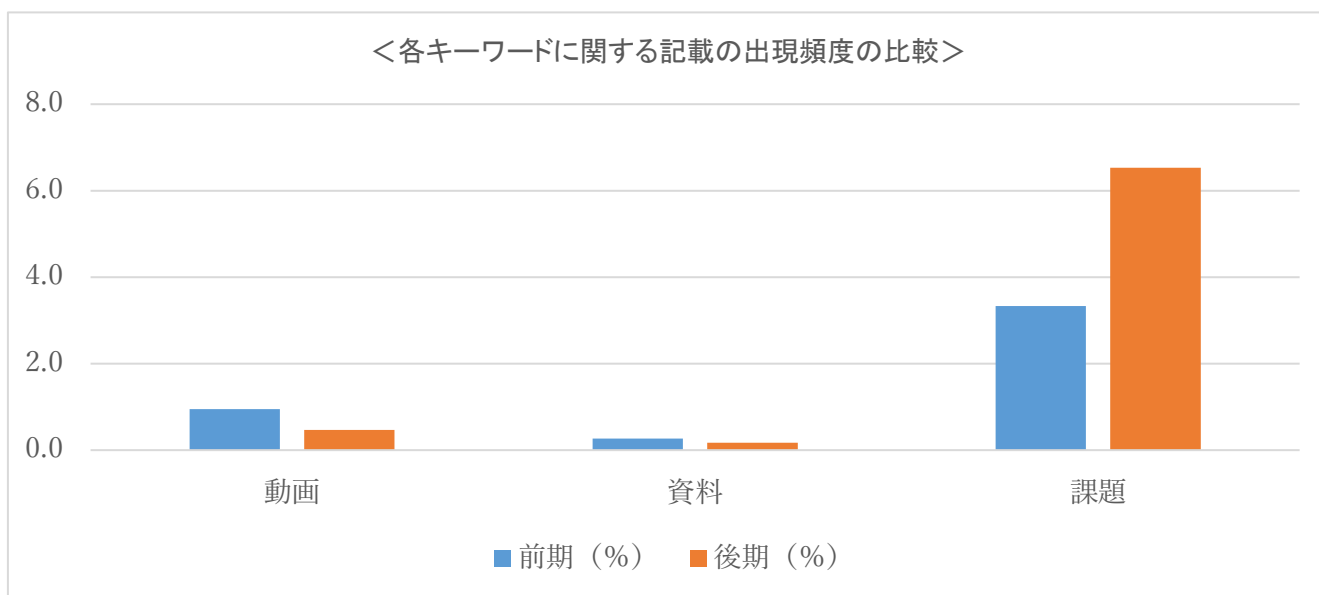
「課題」前期 74 (3.3%) → 後期 112 (6.5%)

<前期>

- 量が多かった
- 授業日ではない日にも課題提出の期間があった
- 動画を提出する課題は、家庭のネット回線によってはアップするのに非常に時間がかかった

<後期>

- フィードバックがわかりにくかった
- 音声の課題は難しかった
- 量が日によってバラバラだった
- 提出方法が毎回異なり、混乱が生じた
- 提出期限が短かった





## 2020 年度（令和 2 年度）前期授業評価アンケート

授業評価アンケート（無記名）の回答にご協力をお願いします。

今年度前期は、コロナウイルス感染予防のため、「当面の間、原則としてすべての授業が、①資料提示型、②動画オンデマンド型、③同時双方向型の 3 つのタイプのオンライン授業（組み合わせたものも含めて）で実施」、という対策がとられました。しかしながら、現時点での感染症終息の見通しはたっておらず、後期以降もオンラインで授業が実施される可能性があります。

このため、今回のアンケートは、後期以降の授業もオンラインで実施されることを想定し、前期の授業にかかわるみなさんの体験についてお聴きし、後期授業の改善に役立てることを目的としています。あなたが前期のオンライン授業を受けて感じたことを、そのまま率直に回答してください。なお、回答内容が履修科目の成績に影響することはありません。また、個人情報として特定されることや、公にされることもありません。

回答期間は「8月17日（月曜日）から9月5日土曜日まで」とします。それまでは回答の変更が可能です。全体をまとめた結果は、後日、本学HPの「授業評価アンケート」に掲載されます。

## 1. 基本属性

### 1) 所属学部学科・研究科専攻分野

所属学科等について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・社会福祉学科社会福祉コース・社会福祉学科総合福祉コース
- ・社会福祉学科コース未決定（1年のみ）・福祉心理学科・福祉行政学科
- ・産業福祉マネジメント学科・情報福祉マネジメント学科・教育学科初等教育専攻幼保コース
- ・教育学科初等教育専攻小幼コース・教育学科初等教育専攻小特コース
- ・教育学部初等教育専攻コース未決定（1年のみ）・教育学科中等教育専攻
- ・保健看護学科・リハビリテーション学科理学療法学専攻
- ・リハビリテーション学科作業療法学専攻・医療経営管理学科・その他の学部授業の受講学生
- ・総合福祉学研究科博士社会福祉学専攻・総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻社会福祉学コース
- ・総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻児童福祉学コース
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻福祉心理学分野
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻臨床心理学分野
- ・教育学研究科修士教育学専攻・その他の大学院授業の受講学生

### 2) 所属学年

所属学年について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・1年・2年・3年・4年・修士1年・修士2年・博士1年・博士2年・博士3年
- ・その他

## 2. この科目のオンライン授業について

1) この授業（授業の方法、進め方、内容、評価など）についてお聴きします。ご自身の学習にとって「効果的だった」「積極的に取り組むようになれた」「これからも続けてほしい」等、「よかったと感じられた点」について、自由にお書きください。箇条書きでも結構です。「よかったと感じられた点」がない場合は、「なし」と書いてください。（300字以内）

－「よかったと感じられた点」－（自由記述）

2)この授業を受けているとき、いろいろな理由で「困った」「悩んだ」「どうすればいいのかわからなかった」という体験をした方がいらっしゃるかも知れません。そこで、次の 2)-1 にあるような体験を実際にしたことがあった場合、「担当教員にもっとこうしてほしいという希望」について、なるべく具体的に教えてください。

2)-1 授業時間後に提出するように指示された課題の量が多すぎて、提出が期限に間に合わなかった、あるいは、提出を諦めたことがあった。（この授業では、こうした体験をしなかった方は「なし」とお書きください。）（300字以内）

－担当教員にこうしてほしいという希望－（自由記述）

2)-2 この授業で、上記 2) -1 以外の理由で、ご自身の学習にとって「あまり効果的ではなかった」「積極的に取り組む気持ちにはつながらなかった」「これからは改善した方がいい」等、「よかったとは感じられなかった点」があれば、なるべく具体的に教えてください。複数ある方は、箇条書きでお書きください。上記 2)-1 以外の問題状況を体験しなかった方は「なし」と書いてください。（300字以内）

－その他の「よかったとは感じられなかった点」－（自由記述）

以上でアンケートは終わりです。お疲れ様でした。

## 2020 年度（令和 2 年度）後期授業評価アンケート（共通）

授業評価アンケート（無記名）の回答にご協力をお願いします。

今年度後期は、コロナウイルス感染予防のため、前期と同じようなオンライン授業に加えて、一部の許可を得られた科目のみ対面式授業で実施、という対策がとられています。

このため、今回のアンケートは、今後もオンライン授業等と対面式授業が組み合わせて実施されることを想定し、後期に実施された授業にかかわるみなさんの体験についてお聴きし、今後の授業改善に役立てることを目的としています。あなたが後期に実施された授業を受けて感じたことを、率直に回答してください。なお、回答内容が履修科目の成績に影響することはありません。また、個人情報特定されることや、公にされることもありません。

回答期間は「2020 年 12 月 23 日（水曜日）から 2021 年 2 月 24 日（水曜日）まで」とします。それまでは回答の変更が可能です。

後期開講科目全体の回答期間は上記の期間ですが、各科目において回答実施日・期間が設定される場合がありますので、各科目担当の先生の指示に従ってください。全体をまとめた結果は、後日、本学HPの「授業評価アンケート」に掲載されます。

## 1. 基本属性

### 1) 所属学部学科・研究科専攻分野

所属学科等について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・社会福祉学科社会福祉コース ・社会福祉学科総合福祉コース
- ・社会福祉学科コース未決定（1 年のみ） ・福祉心理学科 ・福祉行政学科
- ・産業福祉マネジメント学科 ・情報福祉マネジメント学科 ・教育学科初等教育専攻幼保コース
- ・教育学科初等教育専攻小幼コース ・教育学科初等教育専攻小特コース
- ・教育学科初等教育専攻コース未決定（1 年のみ） ・教育学科中等教育専攻
- ・保健看護学科 ・リハビリテーション学科理学療法専攻
- ・リハビリテーション学科作業療法専攻 ・医療経営管理学科 ・その他の学部授業の受講学生
- ・総合福祉学研究科博士社会福祉学専攻 ・総合福祉学研究科修士社会福祉学専攻
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻福祉心理学分野
- ・総合福祉学研究科修士福祉心理学専攻臨床心理学分野
- ・教育学研究科修士教育学専攻 ・その他の大学院授業の受講学生

### 2) 所属学年

所属学年について、必ずひとつチェックしてください。【必須】

- ・学部 1 年 ・学部 2 年 ・学部 3 年 ・学部 4 年 ・修士 1 年 ・修士 2 年 ・博士 1 年 ・博士 2 年 ・博士 3 年 ・その他

## 2. 後期は、前期と異なり「対面式授業」が一部の授業で再開し、おおむね次のような 5 つの形態で行われました。

①資料提示型（EduTrack 等への資料等の掲載）

②動画オンデマンド配信型（EduTrack 等への資料等の掲載、かつ、音声あるいは動画による説明）

③同時双方向型（Google Meet 等のビデオ会議システムを使用した授業）

④対面式授業

⑤上記①～④を組み合わせた授業

この授業は、上の①から⑤のどれにあたるのかを思い浮かべながら、次の設問にお答えください。

1) この授業で、ご自身の学習にとって「効果的だった」「積極的に取り組むようになった」「これからも続けてほしい」等、「よかったと感じられた点」について、自由にお書きください。授業の方法、進め方、内容、評価などいずれでも構いません。複数ある方は箇条書きでも結構です。「よかったと感じられた点」がない場合は、「なし」と書いてください。(300字以内)

－「よかったと感じられた点」－ (自由記述)

2) この授業で、ご自身の学習にとって「あまり効果的ではなかった」「積極的に取り組む気持ちにはつながらなかった」「これからは改善した方がいい」等、「よかったとは感じられなかった点」があれば、なるべく具体的に教えてください。複数ある方は箇条書きでも結構です。問題状況を体験しなかった方は「なし」と書いてください。(300字以内)

－「よかったとは感じられなかった点」－ (自由記述)

以上でアンケートは終わりです。お疲れ様でした。